

同窓會報



〒600-8601 京都市下京区下之町 57-1
 京都市立芸術大学美術学部同窓会 象の会
 発行人：同窓会会長 鶴田 憲次
 TEL/FAX 075-585-2093
 携帯 090-7353-6999
<https://www.kyogei-ob.jp>
 E-mail office@kyogei-ob.jp



同窓会懇親会（学生食堂）

学長退任・就任のあいさつ



今年、2025年の春に京都市立芸術大学を退職いたしました。1978年に入学してから、学生として、教員として、そして最後の6年間は学長として、気づけば38年間大学に通ったことになります。

学長在任中は、同窓会の皆さまにたくさんのご支援をいただきました。とりわけ、学長就任初年度の名称問題ではご心配をおかけしましたが、皆様からの励ましや率直なご意見に力づけられました。また、「アートオークション2023 Hand On」などを通じた移転整備募金へのご協力により、任期中最大のミッションであったキャンパス移転も、無事完遂することができました。今では新キャンパスもすっかり日常の風景となり、学生や教員の活動をはじめ多様な芸術がより開かれた形で発信される拠点となりつつあります。在任中にいただいた皆さまからのあたたかい応援に心より感謝いたします。

振り返ってみれば私は、昭和・平成・令和と三つの元号にわたり、京都芸大が今熊野（岡崎）から杳掛、さらに崇仁とキャンパスを移しながら歩んできた道のりのほとんどを共にしたことになります。大学院や研究センターの設立、法人化など、この間の数々の変化やそのための決断の背景には、歴代の先生方や職員の皆さんの努力の積み重ねがありました。と同時に、いつの世も変わらないひたむきな学生たちの姿、卒業生の皆さんの母校を誇りに思う気持ちが、大学を前進させる大きな支えとなっていたのだと、学長として過ごした6年間を通じて実感いたしました。

京芸の長い歴史の一端を担う役職に就かせていただけたことを光栄に思い、深く感謝いたします。同窓生の皆さまのご活躍と大学のさらなる発展をお祈り申し上げて退任のご挨拶といたします。

2025年9月

赤松玉女

撮影：田口葉子



皆様、こんにちは。この4月から赤松前学長の後任として、理事長・学長に就任した小山田徹と申します。私は本学の卒業生で、学部時には日本画を学び、教員として着任した時は彫刻を教えるといった変わり種で

す。前年度は、体を壊し、半年ほど大学を休ませていただいております。ステージ4の大腸癌、肝臓癌と闘っていましたが、様々な方々の支えのもと奇跡的にサバイバル出来、現在はとても元気になっております。

さて、私たちの大学は本年度で145年、5年後には150周年という節目の時を迎えます。過去の145年を振り返ると、途中に戦争の歴史があり、戦地に学生を送らねばならなかった教員の記述があります。これからの未来において二度とこの様なことが怒らないことを願うと共に、芸術大学が社会に対してどのような役割を担うべきか今一度考えねばならないと思いを強くしております。

象の会の皆様からは、日頃から学生への支援や大学への叱咤激励をいただいております。非常に感謝しております。移転も2年近くを経て、食堂や購買も整備され、やっと通常運転がはじまった感じです。学生たちも活発に活動しています。150周年に向けて、今後も様々な企画や活動を展開していきますので、象の会様ともますます協働を深めていきたいと願っております。

4月より、D棟一階にある学長室を半分、「学長広場」として外から出入りできるオープンスペースを開いております。看板がOPENの時はどなたでも入っていただけます。学生もお弁当を食べにきたり、本を借りに来たり、よく利用してくれています。皆様も来校の際はお立ち寄り下さい。時々学長います。CLOSEの時は悪しからず。

2025年9月

理事長・学長

小山田 徹

Head line

学長退任・就任のあいさつ	1
同窓会会長代行退任・会長就任のあいさつ	2
同窓会象の会2025年度全体総会報告	3
「同窓生名簿2025」の刊行と頒布開始	5
シリーズ 新校舎便り 《油画研究室》	6
ギャラリー@KCUA2026年度「申請展」企画募集	7
『京都市立芸大同窓会美術公開講座』開催のご案内	8

2025年度芸大祭「象の店」開店について	8
Relay Talk 象の会・いろあわせせ	9
2024年度「京都市立芸術大学作品展」同窓会賞受賞作品	10
新任あいさつ／退任あいさつ	11
事務局だより	12
編集後記	12

同窓会会長代行退任・会長就任のあいさつ



本年度7月開催の同窓会全体総会で会長を鶴田憲次先生に引き継ぎまして会長代行を退任し、新たに学外代表幹事に就任いたしました昭和51年工芸科デザイン専攻卒小山格平です。

昨年の役員総会で望月会長の残任期間1年間に会長代行として務めさせて頂くことになり、その就任の折にも1年後には美術学部同窓会象の会会長に相応しい方に引き継ぎたく思っておりました。今回鶴田憲次先生に引き継ぐことが出来た事で私の代行としてのお役目は果たしたと考えております。短い期間でしたが大変お世話になりました。

鶴田憲次先生は長年京都芸大の油画教員として教鞭をとられ、退職後も京都市御池ギャラリーの館長(ギャラリーアクア館長兼務)として活動されました。京都芸大や京都市教育委員会、京都市とも深い繋がりを待っていらっしゃいます。また「京都芸大アートオークション2023」の折には芸大の各専攻・現役の先生を訪ねオークションへの参加を呼び掛けて頂きました。そのような先生の活動もありまして、大学移転支援のアートオークションは成功裏に終わることが出来ました。

同窓会象の会は大学と協業し設置者である京都市とも連携して2030年の創立150年に向けて共に進んでいかねばなりません、鶴田憲次先生はまさにこの時期に相応しい方だと思います。

また今年の同窓会総会では長年代表幹事を務めてこられました野崎代表幹事も今回の総会で退任され副会長に就任いただきます。歴代会長を支え同窓会の実務を担ってこられましたご苦労、本当にお疲れさまでございました。

同窓生の皆様にも、同窓会象の会が活発に活動できます様ご協力ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

2025年9月

京都芸大同窓会象の会

代表幹事

小山 格平



美術学部同窓会象の会会長に就任いたしました、鶴田憲次です。

私は西洋画科1971年卒業、専攻科を経て、西洋画研究室に入り、65歳にて油画教授を定年退職、その後新学舎にギャラリー・アクアが移転するまで9年半にわたりアクア長を務めさせていただきました。

今回、小山会長代行の後任として、開学以来145年という歴史と伝統ある母校の同窓会の会長を務めるに当たり、会員の皆様のご支援、ご協力を得て、大学の発展と、同窓会象の会の発展のために力を尽くしてまいりたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

2025年9月

京都芸大同窓会象の会

会長 鶴田 憲次



同窓会全体総会



同窓会総会参加者

同窓会象の会2025年度全体総会報告

2024年7月5日(土)11:00～13:00
「京都市立芸術大学」 C棟1階 講義室1
出席者数 823名(出席者95名、委任状728名)
過半数 412名
今年の総会は5年ぶりの同窓生全員参加による総会でした。5年前はコロナで中止、書面による総会だったので10年ぶりの対面総会となり、大学施設を総会と懇親会会場にお借りできた初めての総会となりました。

開会挨拶 小山格平会長 司会 阿部 緑副会長
議長 小山格平会長
議事録署名人 小山格平、羽田 登

第1号議案 2024年度事業報告主な事業と活動

「同窓生名簿2025」編集委員会の発足
2025年度「全体総会」開催の準備 大学を会場に計画
新入生に入会金・終身会費納付のお願い
芸大祭で模擬店出店「御休み処/居酒屋象の店」G棟講義室(11/ 1～3)
「同窓会公開美術講座」の開催 C棟講義室1にて 11/24、12/1、12/8 の午前、午後 6講座 キャンパス見学ツアー開催
その他・入学生へお祝い贈呈 学部：総合基礎ノート 院：「京都芸大130年の歩み 京の美都の響」(4月) ・入学式に正副会長出席(4/10) ・総務委員会の開催(4月、6月、12月) ・役員総会 からすま京都ホテル(7/6) ・「会報 象」編集委員会の開催と発行 79号(9月)、80号(2月) ・「芸大作品展」同窓会賞の授与 13名(3月) ・卒業式に正副会長出席(3/24) ・卒業記念品「同窓生名簿2020」贈呈(3月) ・卒業生へ同窓会終身会費納入のお願い文書送付(3月) ・真声会との連絡会議開催(事務レベル) ・「同窓生名簿2020」の頒布 12部 ・ホームページの管理・運営 ・大学支援事業(大学からの申請なし)
・同窓会の後援名義使用 1件 ・同窓生の作品展(個展、グループ店など)の会報、HPへの掲載 49件 ・慶弔 0件

第2号議案

決算報告書 (2024年(令6)4月1日～2025年(令7)3月31日) (単位：円)

一般会計 (収入の部)			
項 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	1,941,926	1,941,926	前年度より
繰 入 金	3,000,000	0	事業基金特別会計より
年 会 費	180,000	145,000	@1,000×145件
終 身 会 費	4,590,000	4,605,000	@30,000×106件('24、'25新入生) その他62件
入 会 金	1,245,000	1,410,000	@15,000×94件
雑 収 入	1,000	199,512	切手、売残品販売など
利 息	74	9,333	ゆうちょ、京銀、中銀、UFJ、みずほ、三井住友
合 計	10,958,000	8,310,771	
(支出の部) (単位：円)			
項 目	予 算	決 算	備 考
運営費	2,445,000	1,932,807	
事 務 費	80,000	124,283	事務消耗品、印刷費など
通信・運搬費	100,000	86,215	電話、郵送、駐車料など
人 件 費	1,600,000	1,230,710	役員手当、役員行動費、事務員手当、アルバイト
会 議 費	300,000	269,800	役員総会、総務委員会、各委員会など
慶 弔 費	5,000	0	祝電、弔電など
ホームページ運営費	200,000	150,000	ホームページ管理、運営
郵便加入者負担金	60,000	42,099	
備 品 費	100,000	29,700	事務室複合機
事業費	6,552,000	3,042,780	
同窓生名簿編集	2,650,000	20,070	名簿発行事業
会報「象」発行	1,800,000	1,528,543	印刷、発送(年2回)
芸大祭	300,000	194,137	象の店運営、会議、人件費
美術講座	250,000	298,890	会議、講師謝礼、人件費
同窓会展(アクア申請展)	150,000	150,000	アクア申請展補助

作品展 同窓会賞	250,000	267,480	賞金@ 20,000 × 13 賞状
新入生御祝	150,000	130,680	総合基礎演習ノートなど
卒業生御祝	500,000	452,980	名簿頒布(129冊)、送料
大学支援	500,000	0	大学への事業支援
五芸祭補助	1,000	0	存目計上(当番年度のみ)
修学支援	1,000	0	存目計上
予備費	1000000	0	
雑支出	61,000	50,000	
繰出金	900,000	0	
合 計	10,958,000	5,025,587	
次年度繰越金	0	3,285,184	

事業基金 特別会計 (収入の部)			
項 目	予 算	決 算	備 考
繰 越 金	28,900,000	28,900,000	前年度より
積 立 金	900,000	0	一般会計より
返 済 金	441,000	451,500	名簿特別会計より
雑 収 入	0	0	
利 息	0	0	
合 計	30,241,000	29,351,500	

(支出の部) (単位：円)			
項 目	予 算	決 算	備 考
取り崩し	0	0	
貸 出 金	3,000,000	0	
合 計	3,000,000	0	
次年度繰越金	27,241,000	29,351,500	

同窓生名簿特別会計 (2020～2025年の途中、2024年度分) (収入の部)			
項 目	予 算	決 算	備 考
繰 越 金	682,786	682,786	前年度より
助 成 金	0	0	本年度なし
借 入 金	3,000,000	0	基金特別会計より
広 告 料	0	0	本年度なし
名簿頒布金	441,000	451,500	@3,500×129冊
名簿売上	0	48,000	@4,000×12冊
雑入・利息	14	235	利息
合 計	4,123,800	1,182,521	

(支出の部)			
項 目	予 算	決 算	備 考
編 集 印 刷	2,500,000	0	名簿製作契約手付金
編集委員会	50,000	22,000	編集委員会行動費
通 信 費	1,000	0	存目計上
その他経費	1,000	0	存目計上
返 済 金	441,000	451,500	特別会計へ(5年の5年目)
合 計	2,993,000	473,500	
次年度繰越金	1,130,800	709,021	

財産目録 (2024年3月31日現在) (単位：円)		
流動資産	33,345,705	(前年度 31,524,712)
普通預金	三菱 UFJ 銀行	6,936,773
普通預金	三井住友銀行	186,100
普通預金	みずほ銀行	211,114
定額貯金	ゆうちょ銀行 14480-50694	2,800,000
通常貯金	ゆうちょ銀行 14480-506941	212,654
当座預金	ゆうちょ銀行 郵便振替口座	9,586,126
通常貯金	ゆうちょ銀行 名簿編集委員会	1,727,625
普通預金	京都銀行	8,262,600
普通預金	京都中央信用金庫	3,140,653
現 金		282,060
固定資産		な し
負 債		な し
正味財産	33,345,705	(前年度 31,524,712)
一般会計		3,285,184
事業基金特別会計		29,351,500
名簿特別会計		709,021

2025年6月14日 上記のとおり報告いたします。
会 計 田中 栄子 ㊞
会 計 裕 康治 ㊞

2025年6月14日、大学同窓会室にて監査を行い、同窓会会計帳簿、預金通帳、領収書類を精査し、この報告の通り相違ないことを確認いたしました。
会計監査 日下部 雅生 ㊞
会計監査 水野 収 ㊞

● 1号、2号議案は賛成多数で承認されました。

第3号議案 2025(令7)年度 事業計画(案)

<主な事業と活動>

1. 「同窓生名簿2025」の発行(9/1)と頒布
2. 大学、真声会、象の会の「顔合わせ」両同窓会から大学への要望提出
 - ① 新入生の個人情報を大学と共有できるようにすること
 - ② 5年後の大学創立150周年に向け大学と両同窓会が連携して記念事業を実施できる体制の整備
3. 2025年度「全体総会」「懇親会」の開催(7/5大学にて) 学内見学ツアー
4. 新入生に入会金・終身会費納付のお願い
5. 芸大祭で模擬店出店「居酒屋象の店」G棟講義室(11/1～3)
6. 「同窓会公開美術講座」の開催 C棟講義室1にて 11月～12月に開催予定
7. その他・入学生へお祝い贈呈 学部：総合基礎ノート 院：「京都芸大130年の歩み 京の美都の響」・入学式に正副会長出席(4/7)・総務委員会の開催(随時)・「会報 象」編集委員会の開催と発行 81号(9月)82号(2月)・「芸大作品展」同窓会賞の授与(3月)・卒業式に正副会長出席(3月)・卒業記念品「同窓生名簿2025」贈呈(3月)・卒業生に同窓会終身会費納入のお願い文書送付(3月)・真声会との連絡会議開催(事務レベル)・ホームページのリニューアルと管理・運営・同窓会の後援名義使用・同窓生の作品展(展覧、グループ展など)の会報、HPへの掲載・慶弔など

第4号議案

予算書(案) (2025年(令7)4月1日～2026年(令8)3月31日) (単位：円)		
一般会計		
(収入の部)		
項 目	予 算	備 考
前年度繰越金	3,285,184	2024年度より
繰 入 金	0	
年 会 費	140,000	@ 1,000 × 140 件
終 身 会 費	4,600,000	@ 30,000 × 100 件(新入生) 他 1,600,000
入 会 金	1,350,000	@ 15,000 × 90 件
雑 収 入	10,000	寄付金など
利 息	3,816	ゆうちょ、京銀、中債、みずほ、三菱 UFJ、三井住友
合 計	9,389,000	
(支出の部)		
項 目	予 算	備 考
運 営 費	2,655,000	
事 務 費	200,000	事務消耗品、印刷費など
通 信 費	100,000	電話代、郵送代など
人 件 費	1,500,000	役員手当員(行動費込) 100,000、事務員手当 1,250,000 アルバイト 150,000
会 議 費	400,000	総会、総務委員会、各委員会
慶 弔 費	5,000	祝電、弔電など
ホームページ運営費	300,000	ホームページのリニューアル、管理、運営
郵便振替口座 加入者負担金	50,000	
備 品 費	100,000	事務室備品
事 業 費	4,280,000	
同窓生名簿編集	800,000	予算の内 300,000 は名簿助成で支出
会報「象」発行	1,700,000	印刷、発送 年 2 回
芸大祭	200,000	象の店運営、会議、人件費
美術講座	300,000	会議、講師謝礼、人件費
同窓会展(アクア申請展)	300,000	アクア申請展補助
作品展 同窓会賞	300,000	賞金@ 20,000 × 13 賞状
新入生御祝	150,000	総合基礎演習ノート
卒業生御祝	500,000	同窓生名簿 2025 @ 4,500 × 110 冊、送料
大学支援	10,000	存目計上
五芸祭補助	10,000	存目計上(2026年度京都開催)
修学支援	10,000	存目計上
予 備 費	2,444,000	
雑 支 出	10,000	存目計上
繰 出 金	0	
合 計	9,389,000	
次年度繰越金	0	

事業基金 特別会計		
(収入の部)		
項 目	予 算	備 考
繰 越 金	29,351,500	2024年度より
積 立 金	0	
返 済 金	580,000	名簿特別会計より
雑 収 入	10,000	存目計上
利 息	8,500	存目計上
合 計	29,950,000	
(支出の部)		
項 目	予 算	備 考
取り崩し	0	
貸 出 金	4700000	名簿特別会計へ貸出
合 計	4,700,000	
次年度繰越金	25,250,000	

同窓生名簿特別会計 (2020～2025年の途中、2025年度分)		
(収入の部)		
項 目	予 算	備 考
繰 越 金	709,021	2024年度より
助 成 金	300,000	
借 入 金	4,700,000	
広 告 料	500,000	
名簿頒布金	500,000	卒業生御祝
名簿売上	450,000	@ 5,000 × 90 冊
雑入・利息	979	利息
合 計	7,160,000	

(支出の部)		
項 目	予 算	備 考
編集印刷	5,600,000	名簿製作費 山代印刷へ
編集委員会	200,000	編集委員行動費、印刷費
通信費	700,000	調査用紙送付
その他経費	60,000	表紙デザイン賞金など
返済金	580,000	事業基金特別会計へ
合 計	7,140,000	
次年度繰越金	20,000	

● 3号、4号議案は賛成多数で承認されました。

第5号議案 同窓会会則改正(案)

次のとおり会則改正を再提案いたします。

(所在地) 第2条 本会の所在地は、京都市下京区下之町57-1公立大学法人京都市立 芸術大学内に置く。

(入会及び会費) 第6条の3項を削除する。

(3)前号に定める者の会費は、本学在学中に限り免除する。(削除)

● 5号議案は賛成多数で承認されました。

第6号議案

6号議案は中村隆一氏から立候補表明があり、それを表決した結果、立候補と幹事就任を賛成多数で承認しました。



同窓会総会会場

第5号議案 同窓会役員

名誉会員	中西 進	潮江 宏三	建畠 哲	鷺田 清一			
相談役・顧問	中井 貞次 (顧問)	望月 重延					
名誉会長	小山田 徹 (理事長・学長)						
名誉副会長	奥田 拓史 (副理事長)	川嶋 渉 (副学長)	天沼 憲 (事務局長)	森野 彰人 (美術学部長)	礪波 恵照 (美術研究科長)		
	学 内		学 外				
会 長		鶴田 憲次 (1971 (昭46) 洋)					
副会長		野崎 邦雄 (1969 (昭44) 洋)		阿部 緑 (1983 (昭58) 染)			
代表幹事	安井 友幸 (漆工)	小山 格平 (1976 (昭51) D)					
会 計	田中 栄子 (版画)	碓 康治 (1991 (平3) 日)					
監 査	藤井 良子 (染織)	水野 収 (1979 (昭54) 日)					
幹 事	正垣 雅子 (日本画)	中井 貞次 (1954 (昭29) 染)	榊原 吉郎 (1957 (昭32) 洋)	芦田 裕昭 (1959 (昭34) 日)			
	谷澤紗和子 (油画)	舞原 克典 (1961 (昭36) 洋)	中村 隆一 (1963 (昭38) 図)	川口 凱正 (1963 (昭38) 日)			
	金氏 徹平 (彫刻)	木村 英輝 (1965 (昭40) 図)	望月 重延 (1967 (昭42) 塗)	古川加津夫 (1970 (昭45) D)			
	木村 友紀 (油 構想設計)	竹内 三雄 (1972 (昭47) 彫)	中野 順二 (1972 (昭47) 塗)	木村 秀樹 (1972 (昭47) 版)			
	滝口 洋子 (総合デザイン)	出井 豊二 (1973 (昭48) D)	辻 喜代治 (1973 (昭48) 塗)	佐藤 敬二 (1974 (昭49) D)			
	高井 節子 (デザイン B)	岩間 香 (1977 (昭52) 日)	酒井 雅子 (1978 (昭53) 洋)	松尾 恵 (1980 (昭55) 染)			
	長谷川江利子 (PD)	藤本 英子 (1982 (昭57) D)	松本 陽子 (1982 (昭57) 版)	東田 幸治 (1983 (昭58) 油)			
	西條 茜 (陶磁器)	長谷川直人 (1983 (昭58) 陶)	児玉 靖枝 (1984 (昭59) 油)	村岡 幸信 (1985 (昭60) 日)			
	田島 達也 (芸術学)	國松 万琴 (1985 (昭60) 陶)	河原 有加 (1986 (昭61) 版)	茶谷 文子 (1986 (昭61) P D)			
	飯田 真人 (教職)	谷本 天志 (1989 (平1) 油)	安藤 吉準 (1989 (平1) 構)	辻野 宗一 (1990 (平2) 日)			
		新田 恭子 (1990 (平2) 染)	安井 健二 (1992 (平4) V D)	福岡 崇 (1994 (平6) P D)			
		吉岡 佐知 (1995 (平7) 日)	高橋 誠吾 (1996 (平8) P D)	北里美絵子 (1998 (平10) 染)			
		黒川 彰宣 (1999 (平11) 彫)	徳永 杏子 (1999 (平11) V D)	小川久美子 (1999 (平11) 染)			
		関林 宏祐 (2001 (平13) 日)	諫山 恵実 (2003 (平15) 日)	古川きくみ (2007 (平19) 環D)			
		公庄 直樹 (2007 (平19) 漆)	中村 潤 (2009 (平21) 彫)	桂 春菜 (2010 (平22) 日)			
		竹村 雪子 (2010 (平22) 漆)	村井 都 (2013 (平25) 版)	荻野 志織 (2014 (平26) 芸)			
		山本真実江 (2015 (平27) 陶)	田中 美有 (2016 (平28) P D)	澤あも愛紅 (2017 (平29) 油)			
「会報象」編集委員	野崎 邦雄	出井 豊二	古川加津夫	小山 格平	阿部 緑	安井 友幸	徳永 杏子
ホームページ運営委員	長谷川江利子	小山 格平	野崎 邦雄	東田 幸治			

2025全体総会で発言された主な意見

- ・大学名称問題で集まった同窓生グループが「美の会」という名前で活動しているので報告しておきたい。
- ・名称問題についての持論を発言。この問題をどう思っているのか？この場で皆さんに聞いてみて欲しい。
- ・どうして造形芸大が京都芸大の名前を欲しがるのか？ 教えて欲しい。
- ・和解条件に違反し旧造形大は「京都芸大」「京芸」など当方が権利を持ってる名称をいまだに使っている。大学は対応しているのか？
- ・同窓会会則はオープンにされているのか？ その運営要項はどうすれば見られるのか？ HPで公開して欲しい。
- ・従来の同窓会長はそれなりにステータスな人物が就任してきたが、今回の副会長の人事案では会長事故あるときに心もとなく感じる。
- ・名誉会員の方から今日の総会の案内を見ていないと聞いたがどうなっているのか？

- ・皆さんから出ている意見が多いので今日の総会では処理しきれないと思うので、今後臨時総会を開催して論議を深めてはどうか。
 - ・情報を記録し残していく行為、特に文字情報で残すことは文化の継承そのもので同窓会もこの観点から活動を行っていただきたい。会報やHP、同窓生名簿などは貴重な財産であり大切にしていきたい。
 - ・デザインの中村隆一さんが幹事になりたいと言っているので推薦したいが可能なのか？
- (会則上、推薦だけでは候補になれないが、本人が総会の場で立候補を表明されれば総会の議案として受け入れ、採決に付される 野崎)

「同窓生名簿2025」の刊行と頒布開始

5年に1回発行しています「同窓生名簿2025」を9月に刊行します。7月1日の創立記念日に発行予定でしたが、事務作業の遅れから発行が3ヶ月遅れました。本年は大学創立145周年を迎える節目の年で、その記念誌の意味も込めています。

既に購入予約いただいている方には順次送付いたしますので同送の振込用紙(ゆうちょ)で代金4,500円を同窓会に送金して下さい。

これから購入いただく方は、@5,000(送料込)を同窓会まで振り込んで頂ければ直ぐに送付します。<振込用紙(ゆうちょ)を利用>

ただし、同窓生1人に1冊とさせていただきます、同窓会費(年会費1,000円または終身会費)の納付が必要です。会費未納の方は、会費と合わせて名簿代金を納入ください。





シリーズ 新校舎便り

《 油画研究室 》

この春、女性教員採用にかかる大学の方針を受け、三宅砂織先生が新たに着任されました。これにより、油画専攻では7名の専任教員のうち3名が女性教員となり、大きく性別のバランスが変わりました。

大串先生、赤松先生に続き、3代目女性教員の唐仁原先生、4代目の谷澤、そして5代目の三宅先生と、まだ専攻の歴史の中では少数ではあるものの、確実に変化が進んでいます。



油画B制作風景

こうした変化の最中に身を置くことで、多様な性別の教員が教壇に立つことは、学生にとっても豊かな学びの機会となる素晴らしいことだと感じています。性別の偏りによって考えられる懸念（例えばステレオタイプの固定化や、ロールモデルの不足による自己実現への意欲の持続困難、ジェンダー構造に起因するハラスメントの問題など）を払拭し、誰もが安心して学びやすい環境を整えていきたいと考えています。

また、教員の入れ替わりによる教室の再編も行いました。

（油画1＋壁画：金田、法貴、三宅）

（油画2：唐仁原、渡辺）

（油画3：伊藤、谷澤）



フレスコ画ワークショップの様子



左より 唐仁原先生、三宅先生、谷澤（2025年4月 撮影：渡辺信明先生）

教室ごとの特色を活かしながら、新しいメンバーとともに、学生たちがのびのびと制作に取り組める環境を目指して参ります。

さらに、大学移転のためにしばらくお休みしていたフレスコ画のワークショップを、油画専攻の卒業生でもある松本和子先生をお迎えし、基礎の授業の中で再開しました。

フレスコ画は、西洋絵画における古典技法であり、石灰を塗った壁面が乾かないうちに顔料を塗り込むことで、絵具と壁が一体化する堅牢さと独特の美しさを生み出します。油画専攻にとってフレスコを学ぶことは、単なる技法の習得にとどまらず、絵



松本和子先生によるフレスコ画ワークショップ

画の根源的な成り立ちや「描く」という行為そのものへの理解を深める貴重な機会でもあります。普段の絵画表現にも新たな視点や発見をもたらしてくれるものです。

新校舎の煉瓦壁に囲まれた大きな空間の中で、素材とじっくり向き合い、時間や空間を意識しながら描くという体験は、学生たちにとって貴重な機会となりました。今後もこうした基礎を大切にしながら、より豊かな学びの場を築いていきたいと考えています。

最後になりましたが、本年2月にご逝去された大串佐知子名誉教授に心より哀悼の意を表します。長きにわたり油画専攻の発展にご尽力いただいたご功績を深く偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

（谷澤 紗和子）

ギャラリー@KCUA2026年度「申請展」企画募集

作品募集期間2025年9月1日～30日

2026年度京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA「申請展」について、下記のとおり募集します。

「申請展」とは、京都市立芸術大学の卒業・修了生・教職員・在学生を対象とした企画公募により、ギャラリー@KCUA運営委員会による審査を経て選出された展覧会です。大学の附属施設である@KCUAでこそ実施可能な実験精神に溢れた企画や、若手作家による意欲的な企画などが優先して採択されています。

1 対象(申請者)：京都市立芸術大学卒業・修了生・教職員・在学生(申請者以外の出展者等企画関係者に上記以外の者を含むことは可)
※ただし、2022年度から2025年度申請展に自ら申請した企画が採択された者を除く

2 展覧会日程：

(1) 申請展 1

2026年3月21日(土)～4月19日(日)

※搬入3月7日(金)～9日(日)、18日(水)～20日(金・祝)

搬出4月20日(月)～22日(火)

(2) 申請展 2

2026年8月1日(土)～8月30日(日)

※搬入7月27日(月)～31日(金)

搬出8月31日(月)～9月2日(水)

3 展示会場：

A区画、B区画のいずれか1区画を選んで申請してください。

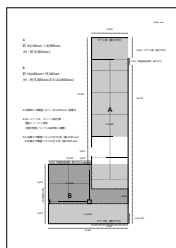


A区画



B区画

撮影 来田 猛



※詳細は@KCUAウェブサイト
でご確認ください)
<https://gallery.kcua.ac.jp>

4 申請受付：

提出書類：

下記の様式を作成し提出期限までに提出してください。

- ① 申請書(所定の様式)
- ② 展覧会企画書(様式自由)

展覧会概要、出品作家、出品予定作品など、企画の詳細を記載してください

(本募集要項の項目7に記載の留意事項を確認の上、書類を作成してください)

- ③ 別添資料(参考資料として提出が必要な場合のみ)

受付期間：2025年9月1日(月)～9月30日(火)17:00(必着)

申請先：京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

「2026年度申請展募集」係

① メールでの申請：

gallery@kcua.ac.jp

申請書、添付資料(合計5MB以内)等をメール添付の上、送信してください。

総データ量が5MBを超える場合は、事前に@KCUAまでご相談ください。

② 郵送での申請：

〒600-8601

京都市下京区下之町57-1

京都市立芸術大学C棟2階

@KCUA キュレトリアル・ラボ

③ 在学生による申請について

・申請には指導教員の承認が必要です。

メールによる申請の場合は、必要書類を準備した上で、申請者ではなく指導教員から@KCUA宛に送信してください(その場合は押印・署名を省略できます)。

・申請を承認した教員の監修のもと、@KCUAと連携して展覧会運営を実施してください。

5 審査結果の通知について

申請企画は京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA企画・申請展部会、同運営委員会で審査のうえ、2025年11月中に結果を通知予定です。各企画は、京都市立芸術大学の主催事業(協力：京都市立芸術大学美術学部同窓会象の会)として、@KCUAスタッフと採択者が連携して運営を行います。なお、展覧会運営費として広報物作成費・作品運搬費(上限額は合計で15万円)を本学より支出します。詳細は採択後に@KCUAスタッフと協議の上、決定するものとします。

6 協力

京都市立芸術大学美術学部同窓会象の会

7 留意事項

① 以下の項目を含む企画の申請は、認められません。

- ・火気の使用、もしくは火災の危険のある可燃物を放置すること
- ・飲食物の使用
- ・建築や設備、備品の汚損・破壊のおそれがあるもの
- ・その他迷惑行為や公序良俗に反する行為など、大学内で禁止されている行為

② 許可された区画以外の使用はできません。

8 問合せ先

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

(TEL 075-585-2010/FAX 075-585-2017)

(〒600-8601 京都市下京区下之町57-1

京都市立芸術大学 C棟2階 @KCUA キュレトリアル・ラボ)

『京都市立芸大同窓会美術公開講座』開催のご案内

主 催：京都市立芸大同窓会象の会
協 力：京都市立芸術大学
企 画：京都市立芸大同窓会員 美の会

2023年のキャンパス移転を機に開講しました本講座も今年で3年目を迎えます。2023年度は4講座、2024年度5講座とシンポジウム、そして2025年度は版画に関する講座と構想設計に関するシンポジウムが開催されます。これらの講座により京都芸大美術学部の特長についての内容を網羅したことになります。

キャンパスがアクセスの良い地に移転したことにより、今迄以上に同窓生や市民の皆様にも親しんでいただけるようになり、本講座も年々少しずつ浸透し、参加された方々から手応えのある反応、高い評価や今後の活動に向けてのご意見をいただくようになりました。

同窓会が大学と共に発信する情報や本講座などの様々な活動を通じて、大学が有する芸術資源を活用することで、一層多くの方々に開かれた大学として芸術、文化の発信を行うことをめざしています。

同窓生や学生の皆様、そして多くの市民の方々と貴重な時間を共有させていただきたく、ご来聴をお願いし、ご案内申し上げます。



●受講申し込み：不要(講座及びシンポジウム当日に直接お越し下さい)

●受講料：無料

●日時・会場：

▶2025年12月6日(土) 14時30分～17時(14時開場) 京都市立芸術大学構内 C棟2階 講義室 10

【講演会】

テーマ：「吉原英雄と京芸の版画その後の顛末」ーリトグラフを中心にー

<講師> 出原 司／版画家、1978年京都市立芸術大学美術専攻科西洋画専攻修了、
京都市立芸術大学名誉教授

▶2025年12月7日(日) 14時～16時30分(13時30分開場) 京都市立芸術大学構内 C棟1階 講義室 1

【シンポジウム】 テーマ：「構想設計専攻1970—2025〈創設前夜〉から〈今・ここ〉へ

<コーディネーター> 佐藤 知久／文化人類学 京都市立芸術大学芸術資源研究センター教授

<登壇者> 中島 一平／画家 1972年京都市立芸術大学西洋画科構想設計教室卒
石原 友明／美術家、京都市立芸術大学芸術資源研究センター 客員研究員
田中 功起／アーティスト、京都市立芸術大学構想設計研究室 准教授

<コメンテーター> 坂上しのぶ／美術史家 美術館学芸員

1997年京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻(油画)修了

2025年度芸大祭「象の店」開店について

同窓会象の会活動にいつもご協力頂きありがとうございます。

2025年度の「芸大祭」は11月1日(土)から3日(月・文化の日)までの3日間の予定で開催されます。

同窓会象の会は、今年も昨年同様に芸大祭の期間中に居酒屋「象の店」(模擬店)を開店する予定です。同窓生をはじめ学生、教員、職員、市民の交流を目指して皆様の来店をお待ちしております。

昨年の「象の店」は、芸大祭の模擬店エリアから少し離れた所でしたが、久しぶりにお酒の提供が出来ました。飲酒後に芸大祭エリアへの再入場禁止などのルールがありましたが、概ね平穩に運営することが出来たと思います。

芸大祭期間中に俄雨などが有り天候に恵まれないこともありましたが、幸い「象の店」が講義室だったので天候に左右されずに無

事に営業出来ました。しかし場所の認知度が低く同窓生や職員・近隣の方々のご来店は例年に比べ少なかったようですが最終日には少しは知れ渡るようになりました。

今年の居酒屋「象の店」は、昨年と同じG棟講義室になる予定です。酒類も昨年通り提供する方向で進めております。

居酒屋「象の店」は、京都駅から塩小路通を東に歩き、河原町通の交差点を渡って南行した「柳原銀行」の南隣にあります。幟り旗が立っていますので目印にしてください。

お酒とおつまみをご用意いたしまして皆様のお越しを心よりお待ちしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

居酒屋「象の店」主 小山 格平

象の会・いろあわせ

同窓生が同窓生を紹介し、リレーしていく近況報告のコーナーです。懐かしい人と出会う楽しみ、いつか自分に廻ってくるかも知れないドキドキ感のある連載です。

おおかわはらのぶと
大川原 暢人

2020年（令2）彫刻専攻 修了

「雪のハワイアン」

京芸を修了してから2年後、2022年から2年半の間、北海道旭川に住んでいました。家業の染物屋の修行のためでした。

現在は地元の香川県に移り、生活しています。（ちなみに、北海道は香川県の44倍の面積があるそうです。）

修行は思っていた以上に大変で、そして孤独でした。それと同時に、「広大な大地の上でどのように孤独になれるのだろう」と考えることもありました。

初めての冬、大雪の日にはハワイの音楽を聴きました。その日は、所属しているアートグループの展覧会制作で、ギャラリーの入っているビルの一室に宿泊していました。（他のメンバーは東京から来てくれました。）

朝、目を覚まし、1人でギャラリーに向かいました。ストーブをつけて温まるのを待ちながら、入口のガラス越しに外の大粒の雪を見ていました。住み始めてから1番の大雪で、それを他のメンバーに見せられることが嬉しかったのを覚えています。キンキンに冷えた、音も匂いもない真っ白な世界に、閉じ込められたような気持ちになりました。

温まるまでの間、なんとなくスピーカーでハワイの音楽を流してみました。雪景色とハワイアンという、真逆に思える組み合わせが意外にもしっくりきて、すごく心地よかった。気づけば、無心で体を動かして踊っていました。言葉で表現するのは難しいのですが、とにかく最高でした。しばらく



すると、他のメンバーもやってきて、みんなで一緒に踊りました。

またこんなことがあればいいなと思います。雪の日にはハワイアンミュージック、ぜひおすすめですよ。



なかい あき
中井 亜樹

1989年（平1）日本画専攻卒業
硬式テニス部 軽音楽部

大学卒業後は印刷会社に就職しましたが、転職し現在は高校で美術の先生をしています。職場の先輩から「50になったら定年後のこと考え始めや〜」と言われていたのに日々の仕事に追われて考えるのを先伸ばしにしていました。

コロナで思うように授業ができなかったことや職場で煩雑なパソコン作業が増えたこともあって自分は何がしたかったのかなあと定年後はどんな生き方がしたいのかなあと少し真剣に考えるようになりました。

昨年度から高齢者部分休業という制度を利用して週5日勤務から週3日勤務に変更しました。以前はとにかく毎日必死に仕事こなす日々でしたが今は少し余裕ができたので以前よりは少し丁寧に仕事と向き合っています。

制作は日本画の小品を地域のグループ展で発表したり、月1回のクロッキー会に参加したりしています。

これまでは仕事で疲れてしまっていて展覧会もなかなか観に行けませんでした。これからは興味を持った展覧会に行ったり、やってみたいと思った習い事を始めてみたい。最後は日に焼けて真っ黒になっておじいさんなのかおばあさんなのかかわからない謎の生き物になれば幸せかもしれないなあと
思う今日この頃です。



次号に紹介される方は、
おおとも いのり
大伴 維則さん

2020年（令2）ビジュアルデザイン専攻 修了



次号に紹介される方は、
つじた みわ
辻田 美和さん

1991年（平成3）日本画専攻修了

2024年度

「京都市立芸術大学作品展」同窓会賞受賞作品 (13点)

会期=2025年2月7日～11日 会場=京都市立芸術大学



Wall fragment No.23508/O

松野 夏子

美術研究科 美術専攻(日本画) 修士2回生



シーサイド

世良 茜

美術学部 美術科 油画専攻 4回生



道を横断する

吉田 一真

美術学部 美術科 彫刻専攻 4回生



サードパーティー

岡留 優

美術研究科 美術専攻(構想設計) 修士3回生



現代哀紋帖

平澤 綾

美術学部 デザイン科 ビジュアル・デザイン専攻 4回生



覗き見る～T氏の礼状～

岡内 桃子

美術学部 工芸科 陶磁器専攻 4回生

あなたがいる現在が常に内側になるということ

高橋 弦希

美術研究科 美術専攻(版画) 修士2回生



beloved

的場 草生

美術学部 工芸科 染織専攻 4回生



Play

西田 亨

美術学部 デザイン科 プロダクト・デザイン専攻 4回生



環境デザインのための展示空間

須藤 つかさ

美術研究科 デザイン専攻(環境デザイン) 修士2回生



南宋宮廷絵画における楊皇后の題賛作品に関する研究
—権力と身分の視覚化—

孫 燮陽

美術研究科 芸術学専攻 修士2回生



椿椿山の《玉堂富貴・遊蝶・藻魚図》における創造性について
—一画稿から本画への追体験を通じて—

高畑 理乃

美術研究科 保存修復専攻 修士2回生

新任あいさつ (2024年10月・2025年4月)

デザインB研究室

服部 円 (はっとり まどか)



デザイン科デザインB専攻の講師に着任いたしました服部円と申します。武蔵野美術大学でファッションデザインを学び、卒業後は約20年にわたりファッション誌の編集者として活動してまいりました。衣服だけでなく、ライフスタイルや社会、文化全体に目を向ける編集の仕事を通して、多様な視点や価値観に触れる機会を得ました。その中で、動物行動学に興味を持ち始め、社会人大学院生としてネコとヒトとの関係について研究を行い、京都大

学で博士号(理学)も取得いたしました。現在は企業や研究機関のWEBメディア編集に携わりつつ、カルチャーとサイエンスをつなぐ表現や企画に取り組んでいます。編集とは、情報を集め、選び、整理し、伝える営みであり、現代社会においてますます重要な役割を果たしていると感じます。デザインと科学研究の両分野で得た経験を活かし、教育と研究の場で新たな創造と探究を実践していきたいと考えています。

(2024年10月着任)

油画研究室 准教授(絵画・写真・映像)

三宅 砂織 (みやけ さおり)



本年4月より油画研究室の准教授に着任いたしました三宅砂織です。私は本学の版画専攻出身で、在学中はリトグラフを制作していました。思い返せば、版画を専攻したのは、自分の中に凝固まっていた「絵画」の概念を揺さぶり、その意味や枠組みを再構築してみたいという思いがあったからかもしれません。

その関心は次第に、個人的な経験と集合的な記憶をつなぐイメージの在り方へと広がっていきました。そうした関心の延長として、既存の写真画像をモチーフに、「私た

ちが関わる現実のなかで、絵画的なイメージとは何か」を浮かび上がらせたいと考えるようになりました。そして、画材の物質性や光学機器の視覚システム、イメージ生成の歴史的背景などを参照しながら、「イメージを知覚すること」と「表現」との関係を、描くという行為を通じて探る制作に取り組んできました。

これまでの経験から得た視点が、油画という領域において深い考えや対話を生む契機となることを願っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(2025年4月着任)

彫刻研究室 特任教授

小金沢 健人 (こかなざわ たけひと)



このたび、ご縁あって美術学部美術科彫刻専攻の特任教授として2年間務めさせていただくこととなりました。小金沢健人と申します。

私は学生時代に映像を専攻し、卒業以降はベルリンを拠点に活動を続けてまいりました。映像という質量を持たないメディアを使って、時間や動きの表現をスタート地点に、インスタレーションのような空間表現から、パフォーマンス、舞台やステージのディレクションなどへ表現の領域を拡げてきました。映像と彫刻はメディアの特性としては正反対。時間軸と空間軸それぞれで対称の位置にある面白い関係です。

時間を圧縮したり引き延ばしたり逆行させたりできる映像と、そこに在って触れることのできる彫刻。それぞれのメディアはそのメディアにできないことを夢見て他のメディアに憧れますが、私自身、自分が何も知らないという立場を受け入れてあらためて彫刻を学び直したいと考えています。2年という短い期間ではありますが、学生の皆さんとともに制作と対話の中から、彫刻専攻を異なる視点が交差する新たな場として豊かなものにできればと願っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

(2025年4月着任)

退任あいさつ (2025年3月)

油画研究室 特任教授(油画)

谷本 天志 (たにもと たかし)



この度、2年間という短い間でしたが、特任教授として京都芸大で勤めさせていただき、心より感謝申し上げます。特に、長年親しんだ沓掛キャンパスから新たな崇仁キャンパスへの移転という大きな変革の時期に立ち会えたことは、貴重な経験となりました。新しい環境の中で、多くの優秀な学生と出会い、彼らの創造力や情熱に触れることで、枯れかけていた美術家としての自分にも新たな光が差し込んだように感じています。また、尊敬する

先輩である石原友明先生、赤松玉女先生の退任記念展に携わる機会を得たことも、大変光栄であり、有意義な時間でした。学生の皆さん、教職員の皆様には多くのご支援をいただき、心より感謝申し上げます。今後もこのご縁を大切にしながら、それぞれの場での挑戦を続けていければと思います。本当にありがとうございました。(写真は2回生の久保田翼叶さんが描いてくれた私。了承を得て使用させていただきました。)

(2025年3月退任)

事務局だより

<振替口座>

ゆうちょ銀行 口座番号 01030-7-12844

他の金融機関から(店名)一〇九(店番)109 当座 0012844

名義 京都市立芸術大学美術学部同窓会象の会

<問い合わせ・連絡先>

Email:info@kyogei-ob.jp

- 今年は大学創立145周年の年です。7月の同窓会総会も全員参加総会となり、多くの同窓生(95名)が参加しました。懇親会も91人の参加と学長などを迎え学生食堂で開催出来ました。その後81名が2組に分かれキャンパスツアーを実施しました。
- 総会の当日、一部の同窓生が「ギャラリーアクア」で当該職員に暴言を吐くなど不謹慎な行動があり、大学から注意を受けました。同窓会は遺憾なことで受け止めています。
- 4月の学長退任交代に伴い副理事長の異動があり、京都市から奥井拓史氏が就任されました。
- キャンパス移転以来、課題であった「食堂」(4月)と「購買部」(7月)がオープンしました。皆様もぜひご利用ください。
- 故上村淳之先生を偲ぶ会が同窓会有志の呼びかけで12月6日(土)に開催されます。案内のチラシを同封しました。
- 訂正 前号会報11頁、会員グループ展メンバーの池田篤典を池田篤則に訂正。

次の場合は、事務局までご連絡ください

● 同窓会後援名義使用

同窓会費を納入されている会員が主宰する作品展など(個展、グループ展)で同窓会の後援を希望される場合。

● 展覧会の案内、情報の掲載

同窓会に送っていただいた展覧会の案内や情報はホームページや会報に掲載しています。ホームページへ掲載を希望される場合は展覧会内容、DMデータなどをメールでお送りください。

● 満80歳以上の会費免除

過去10年間、同窓会会費を連続して納入いただいていた満80歳以上の会員で会費免除を希望される場合。

● 氏名、住所、電話、FAXなどの変更時

お忘れになると会報など送付物のお届け、連絡が出来なくなりますので、郵送、FAX、メール、または同窓会ホームページの住所変更フォームからお知らせください。

KCUA 145th Anniversary

京都芸大
145th

京都とともに芸術とともに
京都芸大同窓会象の会

同窓会ホームページ



編集後記

- 今年の夏の暑さは異常でした、北海道でも39度を記録し、京都でも連日37度超えの体温を上回る気温が続きました。6月に入って初夏を飛び越して一気に夏となり、7月は猛暑が続きました。飲料水やUV関連はさぞかし売り上げ増と思いきや、逆に屋外スポーツや出歩きの自粛で販売量が落ちたそうです。
- 例年ならこの会報が届く9月の京都は残暑の名残を感じつつも、朝夕の風にはほのかな秋の気配が漂い始める季節ですが、さてどうなっているのでしょうか？
この時期の京都では、中秋の名月を愛でる「観月の夕べ」や、古式ゆかしい「重陽の節句」、さらには清水寺の「青龍会」など、季節を感じる行事が目白押しです。
- 「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマにした2025年大阪・関西万博の来場者想定は2,820万人だそうです、

閉幕の10月13日まで続きますが、涼しくなるこれからの目標実現が期待されています。

- 小生が芸大2回生の時に開催された1970年の大阪万国博覧会は「人類の進歩と調和」を謳って、総来場者6400万人が訪れ国民の半分に匹敵する来場者がありました。アポロ12号(1969年11月)が持ち帰った月の石を鮮明に覚えています。
- 芸大は一昨年の10月に沓掛から京都駅そばに移転して、もうすぐ2年目の秋を迎えます。学生や職員の皆様も地元として馴染んで、落ち着いてこられたことと思います。芸大祭が地域の祭りの一つとして定着することを真に願っています。

(編集委員長: 出井豊二)